聖隷富士健康診断センターが保健事業部に加わりました

運営管理センター　聖隷富士健康診断センター事業室　室長　早房　雅志

聖隷富士病院では、2018年度より病院併設の健診センターを立ち上げて保健事業を行ってまいりました。有難いことにご契約いただける健康保険組合様や事業所様も年々増加し、少しずつではありますが地域に貢献できているのではないかと思います。

2025年4月に更なる事業発展を目指し、聖隷富士病院健診事業室が「聖隷富士健康診断センター」として、新たに聖隷福祉事業団 保健事業部の仲間になりました。

富士市は県内で3番目に人口が多いにもかかわらず、医療機関や健診施設が少ないことから、地域の中核的機能を担う病院で各種人間ドック、健康診断、特定保健指導、産業医活動等を行う重要性を、スタッフ全員が感じていました。これからは、お互いが培ってきた力を融合し、県東部地域の保健予防活動に更に貢献できるよう取り組んでまいります。皆さまのご利用をお待ちしております。

第13回いきいき健康フェスタにブースを出展しました

保健事業部　運営管理センター　営業契約課　係長　松村　和樹

スモーカーズフェイスと肌年齢測定

女性の健康相談ブース

6月1日（日）、浜松市ギャラリーモール「ソラモ」にて浜松商工会議所主催の「いきいき健康フェスタ」が開催されました。聖隷予防検診センターからは禁煙をテーマに、呼気一酸化炭素濃度測定とスモーカーズフェイス、肌年齢測定のブースを出展。聖隷健康診断センターからは、婦人科系がん検診やブレストアウェアネス（乳房を意識する生活習慣）の啓発として、乳房模型を使用した乳房のセルフチェックや婦人科検診車の展示を行いました。

また、看護職による女性の健康相談ブースも設け、健康についてのお悩みをお聞きしました。様々な体験を通じ、地域住民の皆さまに対し「健康」を考えていただくきっかけを提供できる良い機会となりました。

ヘルスリテラシー向上を支援
…従業員への効果的な健康支援をするために…

聖隷労働衛生コンサルタント事務所　森島　多美子

近年、「健康経営」という言葉が浸透し、従業員の健康を経営的な枠組みで進める企業が増加しています。従業員がいきいきと健康に働くためには、従業員自身が病気の治療や予防に関して正しく理解をして行動していくことが重要です。そこで注目されているのが「ヘルスリテラシー※」です。

※良好な健康状態の維持、増進のために必要となる情報にアクセスし、理解し、活用する個人の意欲や能力を決定づける認知と社会的スキル

ヘルスリテラシーが低いと…

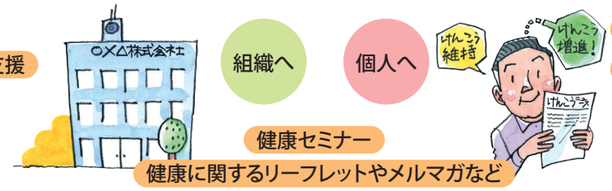
- 健康への関心が向かない
- 健康支援施策への参加率が低い
- 参加しても反応が薄い

→ 健康支援施策をしても、効果が上がりにくい **プレゼンティーズム※の常態化**
※出勤しているものの健康問題が理由で生産性が低下している状態

→ 労働生産性の低下
優秀な人材の休職など

健康課題解決のためには、組織・個人、両方のヘルスリテラシーの向上に向けた支援が必要です

ヘルスリテラシーを向上させるためには、健康情報に触れる機会を多くつくることがポイント！



組織のヘルスリテラシー・個人のヘルスリテラシーが向上することで…

自発的に健康管理ができる
職場全体の健康意識向上

→ 健康的な生活習慣の定着
健康な状態で仕事ができる
プレゼンティーズムの改善、欠勤・休職の減少

→ **労働生産性の向上**

「ヘルスリテラシーの向上」は元気に働きたい従業員、そして、生産性を高めたい企業にとって、それを実現させるためのキーワードです。
保健事業部では従業員のヘルスリテラシーを向上させ、いきいきと働くための健康支援サービスを提供しています。

事業所の健康づくりや健康経営®の推進に、保健事業部の健康支援サービスをご活用ください。

労働衛生・産業保健に関するお問合せ

聖隷労働衛生コンサルタント事務所
● 労働衛生担当　☎ 053-475-1229　● 産業保健担当　☎ 053-473-5529
▶受付時間（祝日除く）…月～金曜日 8：30～17：00

※健康経営は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。